

## 「CBDCフォーラム 全体会合（第四回）」を開催 (六月)

▼日本銀行は、中央銀行デジタル通貨（CBDC）に関する「パイロット実験」を実施しており、その中でCBDCフォーラムを運営しています。フォーラムでは、CBDCの制度設計を適切に進める観点から、複数のワーキンググループ（WG）を立ち上げ、リテール決済に関わる民間事業者と議論・検討を進めています。

▼二〇二五年六月にオンライン形式で開催した「CBDCの動向」と「CBDCフォーラムの活動と今後の運営」について説明を行い、参加の方々と意見交換を行いました。

▼前者のパートでは、各WGで昨年度に議論した主な論点のほか、パイロット実験において構築した実験システムの設計上の

特徴（プライバシーへの配慮、送金の処理フロー、並列処理性、向上策、機能拡張性への配慮）や、CBDCに関する主要国の一動向について説明しました。

▼後者のパートでは、フォーラムでのこれまでの活動（WGの開催実績、APIサンドボックスプロジェクトにおける取り組み、イベントの開催等）を振り返ったほか、今後、WG会合の開催形態の多様化などについて説明しました。

▼日本銀行は引き続き、フォーラムでの議論・検討を通じて得られる民間事業者の技術や実務に関する知見を実証実験と制度設計面の検討に活かしていくたいと考えています。

▼本会合の議事概要やCBDCフォーラムに関する最新情報は、日本銀行ホームページをご覧ください。



### 旧小樽支店金融資料館

#### 特別展「わくわく！熱狂！ ミュージアムでお金の スポーツ観戦」開催中

二〇二六年二月二十四日（火）まで

▼国内外のコインや紙幣にはス

ポーツの場面が描かれたもののが数多くあります。本特別展で

は、日本で開催されたオリン

ピックの記念貨幣や、世界各国のオリンピック記念貨幣、ス

ポーツが描かれたお金を展示します。さらに、スポーツに関連

【開館時間】午前十時～午後五時（入館は午後四時半まで）  
休日の場合は開館）、年末年始（十二月二十九日～一月五日）  
※最新の情報は金融資料館ホームページをご覧ください。  
【入館料】無料  
【休館日】水曜日（水曜日が祝



する貯金箱も紹介しています。

この機会にぜひ、金融資料館で「お金のスポーツ観戦」をお楽しみください。



【所在地】 北海道小樽市色内

一一一一六

【お問い合わせ先】

日本銀行旧小樽支店

金融資料館

○一三四一一一一一

済分野の小論文コンテスト「第二回 日銀グランプリ」に、  
今回は全国の大学から一三三編  
の作品が寄せられ、書類審査を  
通過した四チームにより十一月  
二十九日に決勝大会が開催され  
ました。

二十九日に決勝大会が開催され  
ました。

▼決勝大会の審査員は、山口明  
夫氏（経済同友会副代表幹事、  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
代表取締役社長）、淡路睦氏（株  
式会社千葉銀行取締役専務執行  
役員〈代表取締役〉）、日本銀行  
の冰見野良三副總裁（審査員長）、  
野口旭・中川順子両政策委員会  
審議委員でした。各チームとも  
堂々と質疑応答を行いました。

▼審査の結果、最優秀賞には、  
国税のキャッシュレス納付推進

をテーマにした同志社大学政策  
学部チームが選ばれました（東

京大学、帝京平成大学、同志社  
大学商学部の三チームは優秀  
賞）。また、災害時に特化した  
デジタル通貨を提案した東京大  
学には、あわせて特別賞が授与  
されました。

▼決勝進出チームの小論文全文

▼大学生を対象とする金融・経  
済分野の小論文コンテスト「第一  
回 日銀グランプリ」に、  
今回は全国の大学から一三三編  
の作品が寄せられ、書類審査を  
通過した四チームにより十一月  
二十九日に決勝大会が開催され  
ました。

▼決勝大会の審査員は、山口明  
夫氏（経済同友会副代表幹事、  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
代表取締役社長）、淡路睦氏（株  
式会社千葉銀行取締役専務執行  
役員〈代表取締役〉）、日本銀行  
の冰見野良三副總裁（審査員長）、  
野口旭・中川順子両政策委員会  
審議委員でした。各チームとも  
堂々と質疑応答を行いました。

## 「第一回 日銀グランプリ」 の決勝大会を開催

▼「お金のことをもっと知りたい」「日銀ってどんなところ?」、  
そのようなお子さま的好奇心に  
応えるため、日本銀行本店では、  
小学四年生～中学生のお子さま  
とその保護者を対象に、夏休み  
および春休み期間中に「日銀親  
子見学会」を開催しています。  
▼写真は、二〇二五年八月  
二十五日～二十八日に開催し  
た「日銀夏休み親子見学会  
二〇二五」の様子です。

▼来館見学では、はじめに、國  
の重要文化財に指定されている  
本館（歴史的史料の展示室、旧  
営業場や地下金庫など）の見学

にご案内し、次に「お札の偽造  
防止技術」の説明や職員がサ  
ポートするもとでお札の「手鑑  
査」を体験していただきました。

▼オンライン見学では、日本銀  
行の仕事やお金についての説明、  
支店等によるミステリーツアー、  
VR等を使用した本館のリモー  
ト見学を実施しました。

と審査員講評、決勝大会の模様  
については、後日、日本銀行ホー  
ムページに掲載す



## 「日銀親子見学会」について



お札（模擬券）の数え方を体験



地下金庫の見学

## 編集後記

■ 皆さん、大阪・関西万博に行きましたか。今号のインタビューでは、万博でローマ教皇庁・イタリア館のアンバサダーを務めた指揮者の西本智実さんにお話を伺いました。万博の前年からローマ教皇庁との協議を重ねた西本さんは、終戦から80年となる節目の年に、世界平和に思いをはせ、長崎、広島、大阪の子どもたちによる合唱団らと共に「戴冠式ミサ」を演奏、喝采を浴びました。過去対立関係にあったローマ教皇庁とイタリアが、芸術をテーマに掲げ、万博史上初めて一緒に出展したことは、平和の象徴として大変意義深く、芸術には見えない力や可能性があることを強く感じました。

■ 対談では、人と組織の変革屋として、コンサルティング会社を起業された佐々木裕子さん、田村審議委員が語り合いました。佐々木さんは目の前の仕事が順調でも、自分が何をやりたいのか、やるべきなことを人生の節目節目で考え、転職や起業を決断されており、佐々木さんの人生そのものが変革を体現しているように思います。

■ 11月末に開催された小論文コンテスト「日銀グランプリ」では、大学生から多くの斬新な提言がありました。一人一人がパッションをもって変革に取り組んでいけば、社会は良い方向に向かうと信じます。  
(村國)

### [アンケート募集中]

「にちぎん」に関するご意見・ご感想は、アンケートよりお寄せください。日本銀行のホームページからインターネットでもアンケートにご回答いただけます。



※本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。(https://www.boj.or.jp/about/koho\_nichigin/index.htm)

※本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解等については、日本銀行ホームページ (https://www.boj.or.jp)をご覧ください。

にちぎん 2025年冬号  
編集・発行人 村國 聰  
発行 日本銀行情報サービス局  
〒103-8660  
東京都中央区日本橋本石町2-1-1  
☎03-3277-1947

デザイン 株式会社市川事務所  
印刷 株式会社アイネット  
禁無断転載



オンライン見学は、パソコンのブラウザーからアクセスするか、タブレット端末やスマートフォンからご参加いただけます。



本館の中庭などを、映像で説明を交えながら見学していただきます。

▼本見学会は、事前予約制としており、次回の開催は春休み期間中を予定しています。開催内容の詳細および申込み方法は、日本銀行ホームページに掲載する予定です。皆さまからのご応募をお待ちしています。

▼また、過去の親子見学会（来館見学）の模様は、日本銀行ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



本館見学（常時受付）の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。

▼なお、本店本館の見学につきましては、常時受け付けています。詳しくは、日本銀行ホームページをご覧ください。



日本銀親子見学会の詳細はこちらのQRコードからご覧いただけます。